

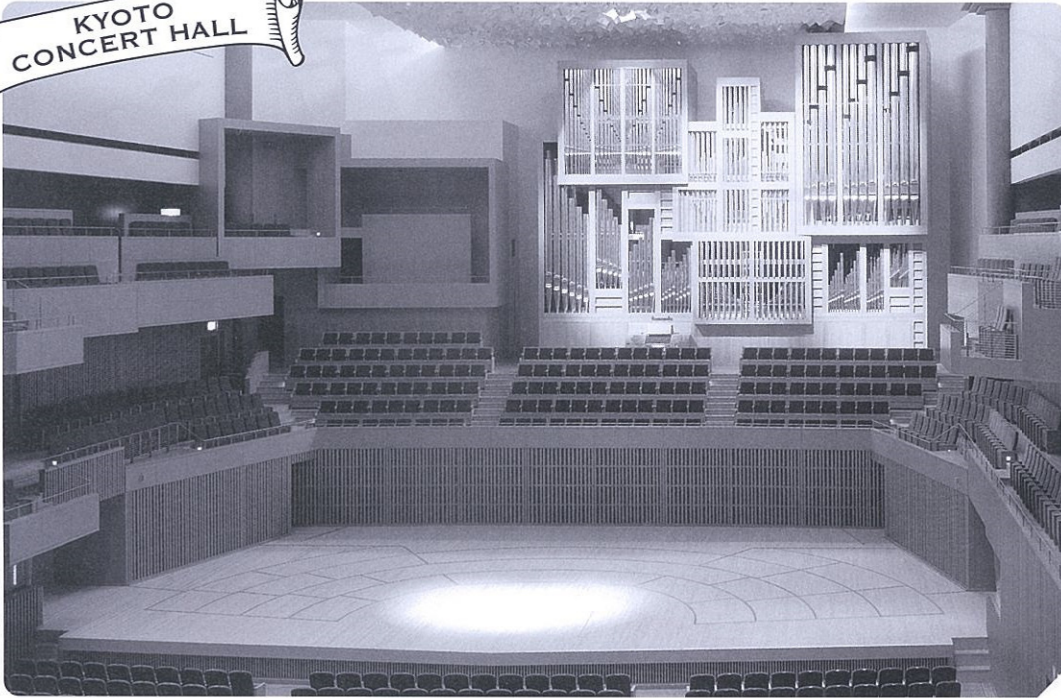
“

”

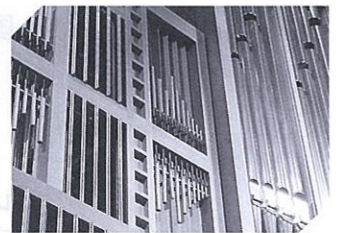
バッハの研究者でありヨーロッパ各地で演奏活動を行う、
オルガン界の巨匠ギエルミが京都へ登場！

2016年でシリーズ20年目を飾るにふさわしい大オルガニストを驚きの価格でお楽しみいただけます。

KYOTO
CONCERT HALL



ずらりと並ぶパイプは総数7,155本



尺八の音色を出す竹のパイプ(中央)

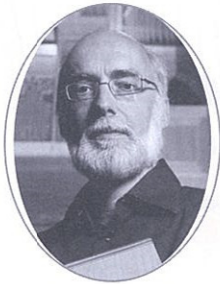
京都コンサートホールの
「パイプオルガン」

ドイツ・ボンのヨハネス・クライス社製のこのオルガンは、オルガン史におけるドイツ様式とフランス様式を独自の
 に統合したもので、規模的にもストップ数90、パイプ総数7,155本と、国内最大級を誇ります。また、世界で初の試み
 である尺八、篠笛、ひちりき、笙の音色など、日本の伝統楽器の響きをパイプオルガンで効果的に表現できます。



ロレンツォ・ギエルミ

LORENZO GHIELMI



©Sergio Caminata

ルネサンスとバロック音楽の演奏家、研究家。ヨーロッパ、
 日本、アメリカなどで幅広くコンサートや、レコーディング
 を行ない、CDを数多くリリース。16～17世紀におけるオルガン
 芸術、バッハの作品解釈の研究にも熱心である。現在、ミラノの
 聖シンプリチアーノ教会のオルガニスト、ミラノ国際音楽アカデ
 ミーの古楽研究所でオルガン、チェンバロそして室内楽の教鞭
 を執っており、2006年からは、バーゼルのスコラ・カントールム
 の教授もつとめる。また、世界中の著名なオルガン・コンクール
 の審査員として、またマスタークラスの講師として招へいされて
 いる。2005年には、「ラ・ディヴィナ・アルモニア」を結成し、ヘン
 デルのオルガン協奏曲第1集(ディアパゾン賞受賞)などを録音し
 ている。東京カテドラル聖マリア大聖堂のオルガン建設のための芸術コンサルタントを
 務めた様子は、2004年NHKハイビジョン特集「パイプオルガン誕生」で紹介された。



このコンサートに
**100名様を
 ご招待いたします。**

応募方法は、コンサートガイド、京都コンサート
 ホール公式ウェブサイトにてご確認ください。
 またメールマガジンではより生の情報や発売
 情報をお伝えしております。ぜひこの機会に
 フレンズ会員(無料:旧京都コンサートホール
 オンライン会員)にご登録ください。
 (ホームページより登録できます)

Smile.

世界を笑顔にする技術、
 今日も京都で生まれています。

OMRON